

放射線計測に関する調査研究

放射線計測グループでは、環境放射線(能)の動向把握に資する調査研究を行います。

放射性核種の簡易・迅速な分析法の開発

【目的】

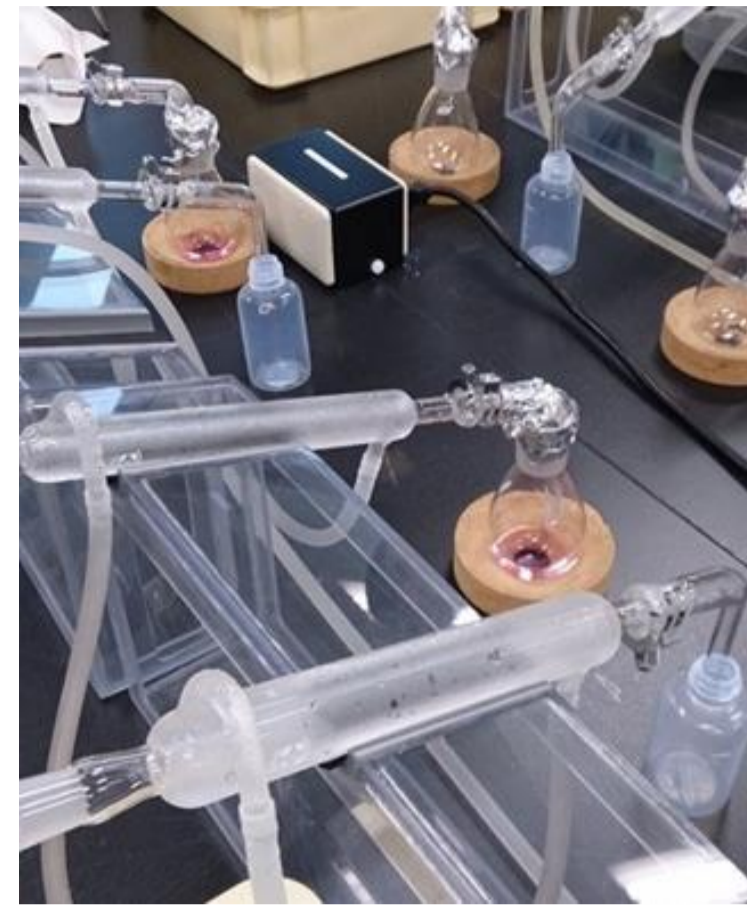
- ・将来必要となる放射性物質の測定技術の検討・開発・実証

【内容】

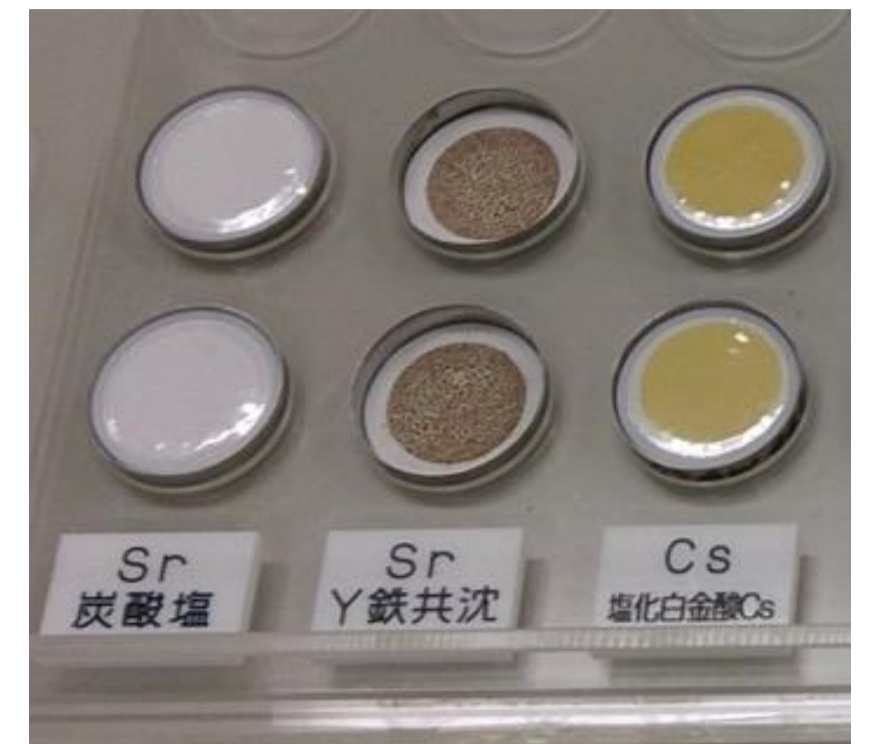
- ・ストロンチウム-90分析の簡易化・迅速化
- ・有機結合型トリチウム分析法の実証
- ・トリチウム分析の高度化

【これまでの成果】

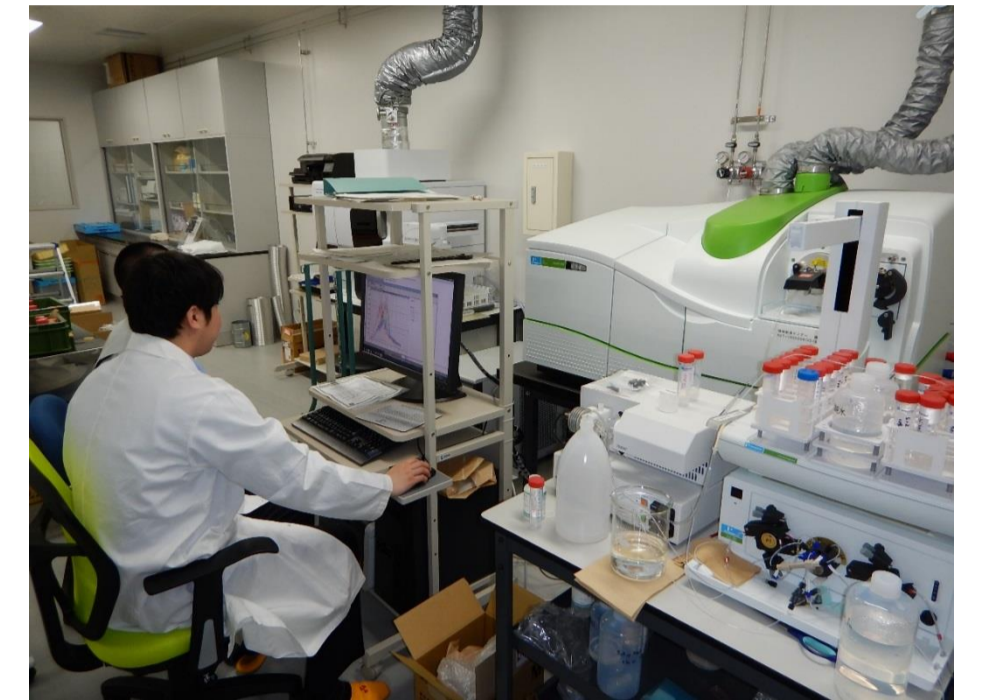
- ・ストロンチウム-90及びトリチウム等分析方法に関する情報を収集・整理した。
- ・その中で取り組むべき分析手法の選定を行った。



試料の前処理(蒸留)



分析試料の例



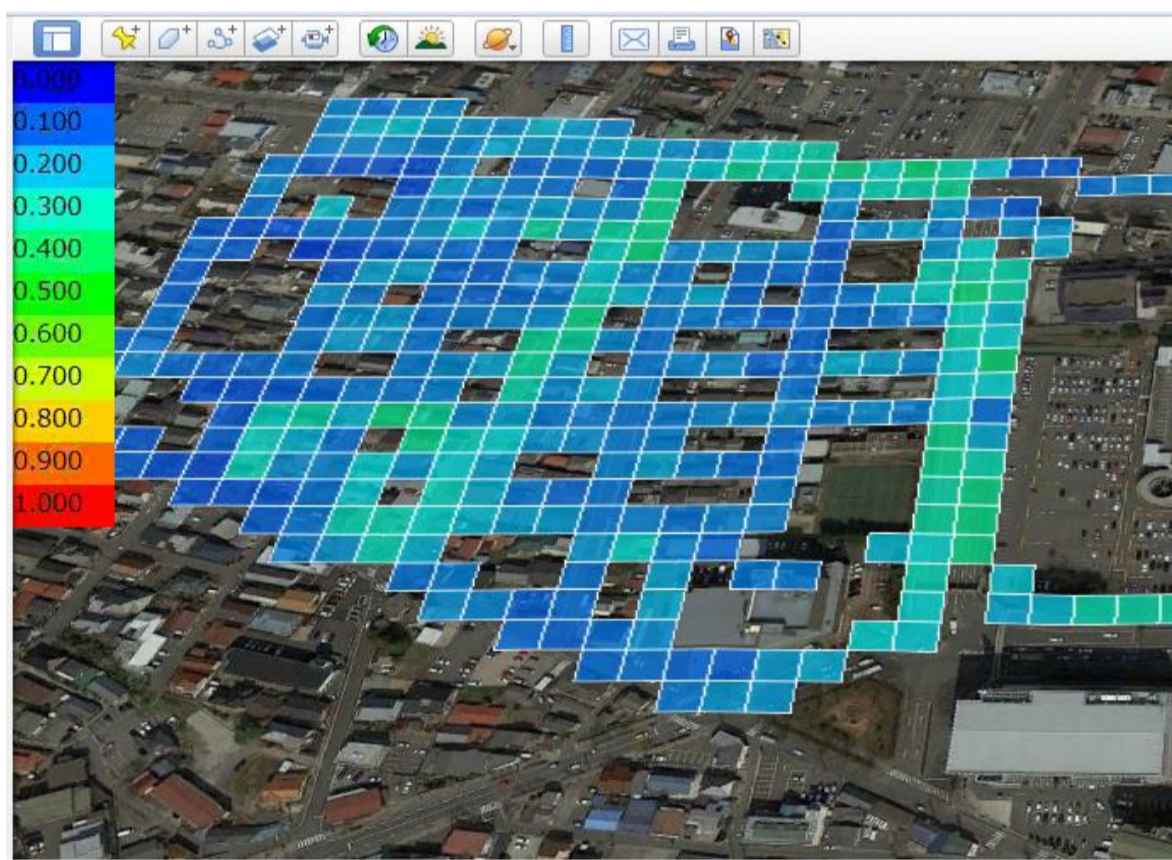
ICP-MSを用いた迅速分析



GPS歩行サーベイ



無人航空機の例



広域の線量分布マップ

空間線量及び放射性物質の測定技術に関する研究

【目的】

- ・住居の周辺などの空間線量の迅速な測定技術の開発
- ・原子力発電所廃炉作業に伴う周辺環境の監視方法の検討・開発

【内容】

- ・歩行サーベイ及び無人航空機での線量測定技術の検証
- ・廃炉作業に伴う周辺環境の監視手法の検討

【これまでの成果】

- ・GPS歩行サーベイを開発し、必要なパラメータを揃え、マニュアルを整備した。
- ・無人航空機を利用したサーベイシステムを開発。

モニタリング結果の評価・活用に関する研究

【目的】

- ・県民に分かりやすいモニタリング情報の提供
- ・モニタリング結果の総合的な評価・活用

【内容】

- ・視覚的に分かりやすい線量分布等マップの作成
- ・モニタリング結果の分析、評価

【これまでの成果】

- ・福島県が公開している、「福島県環境放射能測定マップ」を更新し、一般県民へ広く公開した。



福島県放射能測定マップ